

行動科学

2 units (compulsory) 1st-year(2nd semester), 2nd-year(2nd semester)

Jiro Hamada · PROFESSOR / CLINICAL PSYCHOLOGY, Kenji Sato · PROFESSOR / CLINICAL PSYCHOLOGY, Hajime Miura · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Target) 1) 精神物理学的な考え方を理解し、人間の知覚が人間特有なものであり、刺激と知覚反応の間には簡潔な法則性があることを理解する。 2) 人間の行動に関して、特に、臨床心理学的観点から、その成果(例えば、トラウマの開示と健康の関連)と研究方法について理解する。 3) 人間の行動、特に身体活動との関連から身体構造および呼吸・循環・代謝機能の特性、また、それらの測定評価方法について理解する。

Outline) 心理学とスポーツ科学の立場から、知覚心理学と臨床心理学における研究方法、そして身体の構造と機能の特性、測定法を講義し、行動科学におけるエヴィデンスについて考察する。

Schedule)

1. ウェーバーの法則 (濱田治良)
2. フェヒナーの法則 (濱田治良)
3. スティーブンスの法則 (濱田治良)
4. マッチング法とマグニチュード推定法による明るさの恒常性の検討 (濱田治良)
5. 極限法とマグニチュード推定法によるデルブーフ錯視の検討 (濱田治良)
6. 臨床心理学的研究法の概観 (佐藤健二)
7. 臨床心理学的研究法の基礎 1:学習理論 (不安障害や発達障害の治療)(佐藤健二)
8. 臨床心理学的研究法の基礎 2:社会的学習理論 (統合失調症の治療)(佐藤健二)
9. 臨床心理学的研究法の基礎 3:社会的学習理論:うつ病の認知モデルと認知療法 (佐藤健二)
10. 臨床心理学的研究法の基礎 4:トラウマの開示が心身の健康・認知機能に及ぼす影響 (佐藤健二)
11. 身体組成 (三浦 哉)
12. 身体活動時の呼吸機能の特性 (三浦 哉)
13. 身体活動時の循環機能の特性 (三浦 哉)
14. 身体活動時の代謝機能の特性 (三浦 哉)
15. 身体諸機能の測定評価方法 (三浦 哉)

Evaluation Criteria) レポートにより単位認定をする。

Textbook) なし

Reference) 配布資料に基づいて講義を進める。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218046>